

## 活動方針

わが国経済は、全体としては堅調に回復し、成長率は低いながらも、期間は「いざなぎ景気」を超え、戦後最長となりました。県下の動向はというと、日本銀行神戸支店の管内金融経済概況によりますと、公共工事は減少を続けているものの、輸出は好調で企業収益が高水準で推移し、設備投資も拡大しています。また、雇用と賃金が改善しており、そのもとで個人消費は堅調に推移しているほか、住宅投資も増加しています。この間、生産が増加しているほか、管内企業の景況感も、全体として引き続き良好に推移していると表現しています。

反面、記録的な暖冬で季節商品が振るわず、野菜は豊作だが販売単価が下がるので売上高の減少に拍車がかかる現象が現れているという特殊性はあるものの、今後こうした状況は、大きく変化するとは考え難いものがあります。本年も低成長ながら輸出などに助けられて、安定した成長が続くと予想され、こうした経済状況を“低空飛行・持続型安定成長”と表現する世情であります。

現下、当市では待望のJR宝塚駅橋上化と中心市街地活性化協議会運営や宝塚市産業活性化推進会議の方向性など、まちづくりの推進の核となる組織の確立をはじめとする産業振興を宝塚市と協働して具体的に進めなければならない重要な時期を迎えております。地域総合経済団体である商工会議所は、地域経済活性化の牽引役として、また、地域経済社会の要請に応じて、地域活力の創出に向けその役割を認識し産業振興を軸とするまちづくりに組織を挙げ産学官民の連携のもとに積極的に取り組んでまいります。

さらに、本商工会議所は、平成21年度の設立10周年に向けてさらなる飛躍を期すべく、会員のメンバーシップを高めることに傾注し、会員挙げて地域からの期待と信頼に応えられる会議所をめざし努力を払ってまいります。これがため、平成19年度商工会議所運営における指針として、総力を結集するなか、所期の目的の達成において四つの視点から考察し、活動の原点に立ち返り、活力の創出に鋭意努力を払ってまいる決意であります。

## 重点事業

(策定方針)

会員の事業参加の促進及び会議所基盤強化を目指す

### 1. 宝塚経済活性化の政策・要望活動の積極的展開

(1) 「宝塚市産業活性化推進会議」の運営

### 2. 産業活性化策の積極的推進

(1) 創業・企業支援事業の促進

起業・創業支援セミナーの開催

空き店舗等対策事業

(2) 会員ビジネス交流事業の促進

ビジネスマッチング事業の開催

(仮称)宝塚産業見本市の開催(新規)

(3) 「おいしいまち宝塚」への参画(新規)

(4) (仮称)宝塚住宅センター開設への調査研究への参画(新規)

### 3. 組織の基盤強化

(1) 組織再編と強化

(2) 会員サービス事業の充実と会員増強

### 4. 中心市街地活性化への支援(新規)

### 5. 創立10周年記念事業の企画

## 1. 宝塚経済活性化の政策・要望活動の積極的展開

### (1) 「宝塚産業活性化推進会議」の運営

企業誘致策・北部開発等地域課題を総合的に整理することを目的に設置。  
具体的な実践プログラムを策定することを目的として運営する。

## 2. 産業活性化策の積極的推進

### (1) 創業・起業支援事業の促進

#### 起業・創業支援セミナーの開催

市内企業育成を目的として起業・創業に必要な知識を中心に学習するセミナーを開催する。従前宝塚市と協働して実施していた「起業家セミナー」の趣旨を踏襲しながら、より実践的な内容の充実を図り、起業・創業支援を図る。

#### 空き店舗等情報発信整備

平成18年度市補助金事業により3月より実施を開始した当事業は、今年度、市内に点在する空き店舗・空き工場等の情報を集約し、引き続き当所ホームページ上に公開する。創業・起業を促進し、また、市内での移転等業容拡大を目指す企業に情報を提供する。

### (2) 会員ビジネス交流事業の促進

#### ビジネスマッチング事業の開催

平成17年度より実施した「異業種交流会」「会員ビジネス交流事業」を平成18年度は総合的に事業化。会員相互の英知の結集、優れた産業技術・技能の製品化等、地域内での産業化の気運の原点活動である異業種交流活動を中心に推進する。

#### (仮称)宝塚産業見本市(新規)

企業間の異業種交流会をはじめ会員企業間の交流や、研究機関等との連携を図ることや、各企業の事業概要について広く市民の理解を得ることを目的として事業化を図る。

### (3) おいしいまち宝塚への参画(新規)

### (4) (仮称)宝塚住宅センター開設への調査研究への参画(新規)

平成17年度より市に要望してきた(仮称)宝塚住宅センター(すまいる宝塚)が、会員サービス常任委員会での研究、市と協働で開催した「住宅フェア」等を経て、平成19年度に市が具体化する方向で検討に入った。

宝塚市と宝塚商工会議所が協働して街づくりの新たなセクターの機関設置を調査研究する。全国有数のブランド力を持つ住宅都市を維持・発展させる機能を中心に、行政・企業・市民の分担すべき役割を協議し、設置に向けて発足する研究会に参画する。

### 3．組織の基盤強化

#### ( 1 ) 組織強化

会議所設立以来の組織課題である会費基準の一元化を受け、商工会議所活動の根幹である組織再編を行い運営を強化する。

#### ( 2 ) 会員増強